

中学地理プリント（過去問類似）
中国・四国地方

名前

得点

/8

問1 大阪市場における徳島県産真鯛の取り扱い量は、1985年の3トンから2010年には28トンへと約9倍に急増しています。このような変化をもたらした最大の要因として考えられるインフラの名称を選びなさい。（2016年 福岡県公立入試 類似）

1. 本州四国連絡橋 2. 青函トンネル 3. 関西国際空港 4. 関門橋

問2 香川県の讃岐平野では、年間を通して降水量が少ない瀬戸内の気候に対応するため、農業用水を確保する目的で数多くの施設が作られました。平野部に点在するこれらの施設を何と呼びますか。（2018年 大阪公立入試 類似）

1. ため池 2. 輪中 3. 掘込港湾 4. 遊水地

問3 兵庫県神戸市と淡路島を結ぶ世界最大級の吊橋である明石海峡大橋の開通によって、徳島県と関西圏間の交通は劇的に変化しました。この橋が1998年に開通した後の統計で見られる、正しい変化を選びなさい。（2024年 埼玉県公立入試 類似）

1. 200万人以上いたフェリー・旅客船の輸送人数が、数年で50万人以下へと激減した。 2. トラック輸送のコストが上昇したため、貨物船による物資の輸送人数が大幅に増加した。 3. 淡路島を経由する鉄道が開通したため、大阪方面への通勤・通学者の輸送人数が増加した。 4. 神戸・徳島間のフェリーの所要時間が短縮されたことにより、旅客船の輸送人数が過去最高を記録した。

問4 瀬戸大橋を含む本州四国連絡橋の開通にともなう交通の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）

1. 高速道路の整備によって自動車による陸上交通が中心となり、鉄道連絡船との接続を目的としていた鉄道路線の廃止などの影響が見られた。 2. 橋の開通によって本州と四国の往来が容易になった結果、フェリーの利用者数が急増し、港周辺の鉄道網が以前よりも複雑化した。 3. 自動車の通行料金を抑制するために高速道路の利用が制限されたため、一般道路の混雑が激しくなり、鉄道の重要性が再び高まった。 4. 交通網の整備により四国地方への観光客が増加したため、かつて廃止されていた港への鉄道連絡線をすべて復旧させ、海運との連携を強化した。

問5 愛媛県において、米や野菜など他の農産物に比べて、みかんなどのかんきつ類を含む「果実」の生産が非常に盛んである理由として、地理的な環境の観点から最も適切な説明はどれですか。（2022年 千葉県公立入試 類似）

1. 急な斜面が多く、日当たりや水はけが良い土地条件を活かして栽培が行われてきたため。 2. 広大な平野を活用し、大規模な機械を導入することで効率的な生産が可能になったため。 3. 年間を通じて降水量が非常に多く、常に大量の水を必要とする果実の栽培に適しているため。 4. 冷涼な気候を活かして、他の地域では栽培が難しい高冷地野菜を生産しているため。

問6 島根県東部では、1990年以降に新たに増設された工業団地の多くが、国道9号や54号のバイパスといった自動車専用道路の沿線に集中して立地しています。このように、工業団地が自動車専用道路の付近に建設される主な理由として、最も適切なものはどれですか。（2024年 島根公立入試 類似）

1. トラックを利用した製品の輸送における利便性を高めるため 2. 鉄道を利用した原材料の大量輸送を効率化するため 3. 海外からの輸入に備えて港湾施設との連携を強化するため 4. 地価の安い山間部を開発して工業用地を確保するため

問7 四国地方の各県のデータを比較した統計において、県庁所在地の人口が約25万5000人であり、林業産出額が110億円という高い数値を示している県はどこですか。（2022年 山形公立入試 類似）

1. 徳島県 2. 香川県 3. 愛媛県 4. 高知県

問8 瀬戸内地方に位置する香川県の讃岐平野では、年間を通じて降水量が少なくなるという特徴があります。日本海から中国山地、瀬戸内海（讃岐平野）、四国山地、太平洋へと続く断面図において、季節風が山地に遮られる様子を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 三重公立入試 類似）

1. 夏の湿った風が四国山地に、冬の湿った風が中国山地にそれぞれ遮られ、山を越えた乾いた風が流れ込むため 2. 冬の湿った風が四国山地に、夏の湿った風が中国山地にそれぞれ遮られ、季節を問わず上昇気流が発生しにくいいため 3. 太平洋からの湿った風が中国山地に、日本海からの湿った風が四国山地に遮られ、常に乾燥した空気が滞留するため 4. 夏と冬の湿った風がともに讃岐山脈に遮られ、瀬戸内海からの水蒸気が平野部に到達できなくなるため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 本州四国連絡橋	徳島県と兵庫県、香川県と岡山県、愛媛県と広島県をそれぞれ結ぶ「本州四国連絡橋」の開通は、四国の産業に大きな変化を与えました。特に神戸・鳴門ルート（明石海峡大橋など）の全線開通により、徳島県から関西圏へのアクセスが飛躍的に向上しました。これにより、1980年代にはフェリー輸送で時間がかかっていた真鯛などの特産品が、トラックによる高速輸送で迅速に大阪市場へ届けられるようになり、流通量が劇的に増加しました。
問2	答え 1 ため池	瀬戸内海沿岸の地域は、北の中国山地と南の四国山地に挟まれているため、夏と冬の季節風が遮られて水分が山側に落ち、年間降水量が少なくなる傾向があります。特に香川県の讃岐平野では、大きな河川が少ないこともあり、古くから農業用の水を蓄えておくための「ため池」が数多く造られてきました。弘法大師（空海）が修築したとされる満濃池がその代表例です。
問3	答え 1 200万人以上いたフェリー・旅客船の輸送人数が、数年で50万人以下へと激減した。	本州四国連絡橋の神戸・鳴門ルートが完成したことにより、徳島県と関西方面の移動は自動車やバスが中心となりました。開通以前の1997年までは年間200万人以上いた海上交通の利用者は、開通の翌年以降に急激に減少し、2000年代には50万人を割り込む水準まで落ち込んでいます。これは、陸路の整備が既存の海上交通網に与えた影響の大きさを明確に示しています。
問4	答え 1 高速道路の整備によって自動車による陸上交通が中心となり、鉄道連絡船との接続を目的としていた鉄道路線の廃止などの影響が見られた。	本州四国連絡橋の完成は、人や物の流れを「海運（連絡船）と鉄道の継ぎ」から「陸路（高速道路・鉄道）による直通」へと変化させました。これにより、移動時間が大幅に短縮される一方で、連絡船に接続していた港湾部への鉄道路線などは不要となり、姿を消していきました。地形図などの資料でも、1980年代にあった港への線路が、橋の完成後には消滅している様子が確認できることがあります。
問5	答え 1 急な斜面が多く、日当たりや水はけが良い土地条件を活かして栽培が行われてきたため。	愛媛県では瀬戸内海沿岸を中心に山地が海に迫っており、その急斜面を「段々畑」として利用しています。傾斜地は平地に比べて日当たりが良く、さらに水はけも良好であるため、甘くて質の良いかんきつ類の栽培に最適な環境となっています。
問6	答え 1 トラックを利用した製品の輸送における利便性を高めるため	1990年以降、高速道路やバイパスなどの自動車専用道路の整備が進んだことで、トラックによる物流の効率が飛躍的に向上しました。特に加工組立型の工業などでは、完成した製品を迅速かつ計画的に各地へ配送することが重視されるため、インターチェンジやバイパス付近の交通利便性が高い場所に工業団地が立地する傾向があります。かつての港湾や鉄道を重視した立地から、道路網を重視した立地へと変化している背景を理解することが重要です。
問7	答え 1 徳島県	四国地方の中で、県庁所在地の人口が約25万人規模であり、なおかつ林業産出額が100億円を超える統計的特徴を持つのは徳島県です。香川県は面積が小さく平地が多いため林業産出額は低くなり、愛媛県や高知県は人口規模や林業の統計数値が異なるため、これらの数値の組み合わせから徳島県を特定することができます。
問8	答え 1 夏の湿った風が四国山地に、冬の湿った風が中国山地にそれぞれ遮られ、山を越えた乾いた風が流れ込むため	讃岐平野を含む瀬戸内地方は、北側に中国山地、南側に四国山地が位置する地形となっています。冬は日本海側から吹く湿った季節風が中国山地で遮られて雪を降らせ、山を越えた乾いた風が吹き込みます。反対に夏は太平洋側から吹く湿った季節風が四国山地で遮られて雨を降らせ、やはり山を越えた乾いた風が吹き込みます。このように、二つの高い山地に囲まれているために、年間を通じて降水量が少なくなるという特徴が生じます。